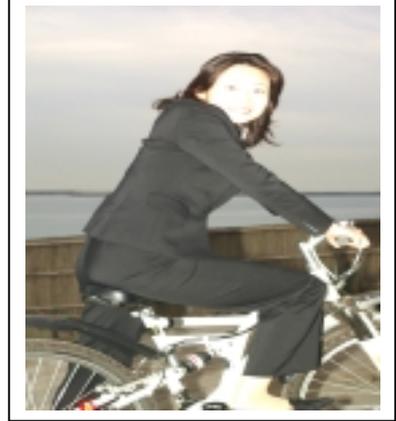


ハッピーかまくら

くさか 久坂くにえ通信



プロフィール 昭和 48 年 2 月 生れ O 型 聖心女子大学文学部英文学科卒業
株)JHC 勤務 (旅行会社: 海外営業部所属 飛び込み営業)
株)イーサイド勤務 (IT 関連国内外会議プロデュース社企画営業担当)



2005 年 第 6 号

久坂くにえ 3つの目標 1. 行財政改革 2. 子育て支援 3. 高齢者支援

2. 子育て支援

・地域が一丸となって子育てに取り組める環境を具体的に推進します

現在放課後に児童が集える子どもの家は市内に 15 箇所。子ども会館は 13 箇所。全ての地域をカバーしておらず、各地域に最低 1 箇所は設置することが急務です。しかし施設を新しく建設し開設となると時間がかかりまた財政負担も大きなものとなります。日本全体が人口減少社会に突入しています。鎌倉市も例外ではありません。今年 1 月には 17 万人の大台を超えましたが、2 月にはまた 16 万人台に戻りました。市の子育て支援活動もかなり充実してきましたが、大船のレイウエル鎌倉まで、行き来しなければなりません。(子育て支援センター、ファミリーサポートセンター)そこで、財政の厳しい折から、需要の多い学童保育などのお母さん支援をもっと各地域に密着した形で数多く実現します。

すなわち各地域にある空き家を市で借り上げ、子どもの家として開放し、地域のボランティア、福祉サークルと連動した運営を実現します。今泉台地区では、空き家の割合が 10%程度 200 軒を超えています。この傾向は各地区でも同じです。空き家の借り上げについては、民間企業の事例、所有者の好意により実現している今泉台地区の事例(赤ちゃんステーション)等を参考に運営規定を定めます。

またこれは子どもの家としての開放だけでなく各地域の高齢者の方、子連れのお母さん方の集えるフリースペースも併設することにより幅広い年齢層の交流を可能とします。

この実現のためには、政治課題として取り上げ、市の子ども局を中心に、地縁団体の町内会/自治会、近隣福祉サークルなどと検討を深めなければなりません。

・夜間保育の実施

現在の夜間保育は 19 時までが延長保育時間となっていますが、都内など離れた場所に勤務している方にとっては十分な時間といえません。21 時までの延長を実現します。

岡田克也民主党代表と固い握手



浅尾議員からのメッセージ

少子高齢化対策は、国と地方にとり、益々重要となつてきています。少子化対策として国政レベルでは、児童手当の欧州並みの増額、男性の育児休暇をとりやすくする、出産手当の支給等の施策を進めます。これにあわせて地域と一体となったきめ細かい子育て支援策が必要です。久坂さんの若い女性としての感性を生かした取り組みに期待します。

参議院議員 浅尾慶一郎

久坂くにえさんに期待します。

全国何処に行っても「鎌倉」といえば、殆ど説明も要らず、しかも「良いところにお住まいですね」と羨ましがられます。しかし、日本経済新聞社の全国住民サービス番付けでは、約700の自治体の中で総合222位と必ずしも実態は羨ましがられるに値しない現状です。その鎌倉を名実共に横綱級にしたいと立ち上がってくれた久坂くにえさん！

その久坂くにえさんに心から託したい気持ちになったのは、何よりも鎌倉を愛する情熱、若いエネルギーと実行力、そしてクリーンでシャープな感性の持ち主だからです。

その持ち前の感性を生かしてファイトとバイタリテイで“ハッピーかまくら”のスローガンに向けて邁進し、必ずや横綱級の町へと押し上げてくれると確信したからです。

これから益々高齢化が進みます。町内に子育て、高齢者支援のための拠点を作り、まさに住み易い鎌倉を作ってくれる事を期待しています。

(津在住 池尾万里子)

前前回の4号では3つの目標 1. 行財政改革 2. 子育て支援 3. 高齢者支援についてご紹介しました。前回の5号では1. の行財政改革の特集を、今回は2. 子育て支援についての特集です。次号では3. 高齢者支援を集めます。

なんでも募集しています。久坂くにえサポーターズクラブ事務局

久坂くにえを応援して下さる方 話を聞いてみたい方

友人をご紹介くださる方 活動をお手伝いくださる方のご連絡をお待ちしています。

〒247-0056 鎌倉市 大船 1-25-23 3F 電話・FAX 0467-44-7270

e-mail:mail@kkusaka.net ホームページ: <http://www.kkusaka.net>

